



2026年2月24日
東海電子株式会社

運輸安全・交通オープンデータ活用 AI プロジェクト

“運輸安全 AI ラボ” 第四弾

トラック、バス、タクシー事業者の行政処分（法令違反・コンプライアンス）を
分析（アナライズ）する情報サイト

“Complyzer（コンプライザー）” 提供開始

自動点呼システム、運行管理システム、安全運転管理システム、労働安全衛生システムを開発・販売する東海電子株式会社（本社：静岡県富士市 代表取締役 杉本哲也）は、昨年10月、運輸安全・交通オープンデータ活用 AI プロジェクト “運輸安全 AI ラボ” を立ち上げました。今般、第四弾として、緑ナンバー事業者の行政処分動向から、業界の安全度を分析する“Complyzer（コンプライザー）” の提供を開始致します。

1. オープンデータと、AI

2012年以降、政府は「[電子行政オープンデータ戦略](#)」、「オープンデータ 2.0」等の取り組みにより、公共データは国民共有の財産であるとの認識を広めながら、ついに2016年12月、基本法である「[官民データ活用推進基本法](#)」を施行しました。これらの取り組みや法制度は、官民データ活用の推進により国民が安全で安心して暮らせる社会及び快適な生活環境の実現に寄与することを目的としています。

そして本年2025年10月、[人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律](#)（いわゆる、AI法）が施行されました。国、自治体、各省庁、AI事業者、国民等、それぞれのAIへのスタンスはますます「意味ある活用」が問われるようになってきています。有用なAIモデル開発には、過去のデータセット、いわゆるビッグデータの活用が重要になってきています。

2. 運輸安全・交通安全オープンデータ

内閣府、警察庁、国土交通省等、交通や安全に関わる省庁は毎年白書等により、いわゆる「交通事故データ」や「犯罪データ」「コンプライアンス違反データ」等を公表しています。これら交通事故・犯罪関連、行政処分データ等は、紛うことなき国民の共有財産と言えます。政府、国民、事業者、メーカー、防犯機器・サービス業者等は、「交通事故をゼロにする」「犯罪をゼロにする」「法令違反をゼロにする」という社会正義のために、これらのビッグデータを有用に使う責任があると言えます。

当社は昨年2025年10月、各省庁により国民のために集められたビッグデータを可視化し、これらを「AI」技術を活用することにより、事業開発と公共の福祉を両立させる研究開発プロジェクト“運輸安全 AI ラボ” を立ち上げました。

<運輸安全 AI ラボ>



https://transport-safety.jp/ts_ai_lab

3. 第四弾、緑ナンバー事故の背景にある事業法違反を分析する “Complyzer”

この度新たに運輸安全 AI ラボが始めたサービスは、“Complyzer (コンプライザー)”と云います。



Complyzer
コンプライザー

行政処分（コンプライアンス違反）を分析（アナライズ）するサイトです。

<https://complyzer.jp>

<https://complyzer.jp/penalties>

一般企業と違い、バス、タクシー、トラック等運輸・運送事業者は、重大事故が起きると、運輸局による「監査」が行われます。いわゆる緑ナンバー事業者（プロ事業者）は、道路交通法だけではなく、道路運送法、道路運送車両法、貨物自動車運送事業法等、一般ドライバーや一般事業主よりも、遵守すべき関連法令が多岐にわたっています。

例えば重大な交通事故を端緒に運輸局による監査が行われると、その結果である「行政処分」が公表されます。また、一般監査といって、事故がなくとも一定の頻度で運輸局による監査が行われます。これらの監査結果は全件、実は公開情報となっており、国民・消費者はいつでもプロ事業者の監査結果（法令遵守状況）を、「実名（会社名・所在地）」で知ることができるのです。



<https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03punishment/cgi-bin/search.cgi>

当サイトは、AI 技術を使い、国土交通省が毎月更新している「行政処分の結果」（ネガティブインフォメーションともいう）を、最新かつ網羅的に収集・分析し、見やすく整理・表示しています。

これにより、運輸安全事業者全般に、自社の「コンプライアンス状況」を振り返る機会を提供することを目的としています。引き続き UI 改善、機能の高度化を進めてゆきます。

政府があつめた膨大なデータを、事故ゼロ活動に役立てよう。

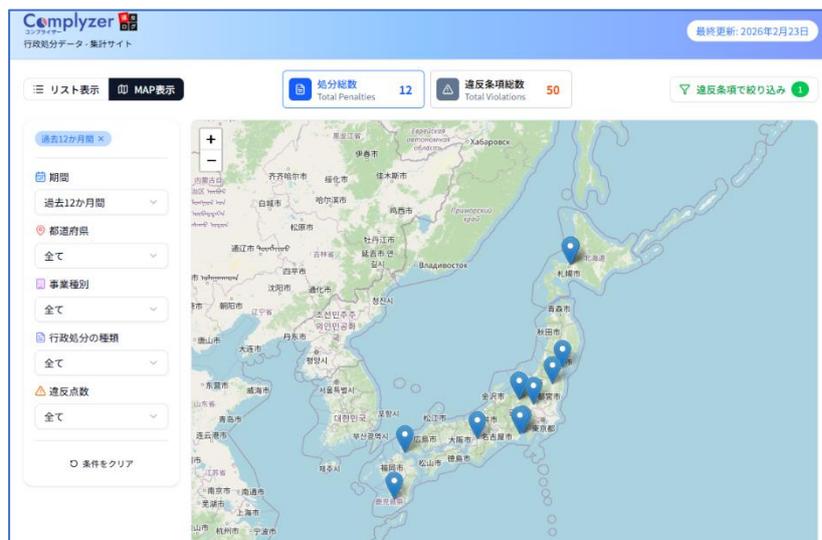
<例：去年 × トラック × 事業許可取消 で検索>

The screenshot shows the Complyzer website interface. At the top, it displays '行政処分データ集計サイト' and '最終更新: 2026年2月23日'. Below the header, there are filters for '区分総数' (18) and '違反条項総数' (15). The main content is a table with columns for '年月日', '都道府県', '事業種別', '事業者名', '営業所名', and '行政処分の内容'. The table lists several entries for '一般貨物' (General Freight) with '許可の取り消し' (Cancellation of License) as the administrative action.

年月日	都道府県	事業種別	事業者名	営業所名	行政処分の内容
2025-04-08	三重県	一般貨物	エクセレントライン株式会社(法人番号 1190001013790)代表者:一井裕朗	本社	許可の取り消し
2025-03-19	山口県	一般貨物	三吉 芳剛	本店営業所	許可の取り消し
2025-07-25	東京都	一般貨物	日本郵便株式会社(法人番号 1010001112577)代表者:千田哲也	高輪郵便局 他計26郵便局	許可の取り消し
2025-03-18	北海道	一般貨物	有限会社 マルイチ輸送(法人番号 8440002007917)代表者:坂田一謙	本社営業所	許可の取り消し
2025-11-26	北海道	一般貨物	有限会社ドンドンサポートシステム(法人番号 2430002060559)代表者:野登谷守	本社営業所	許可の取り消し
2025-03-18	北海道	一般貨物	有限会社松井運輸 代表者:畑田 まさ子	本社営業所	許可の取り消し
2025-03-18	北海道	一般貨物	有限会社池野野村(法人番号 7440002000237)代表者:池野正光	本社営業所	許可の取り消し

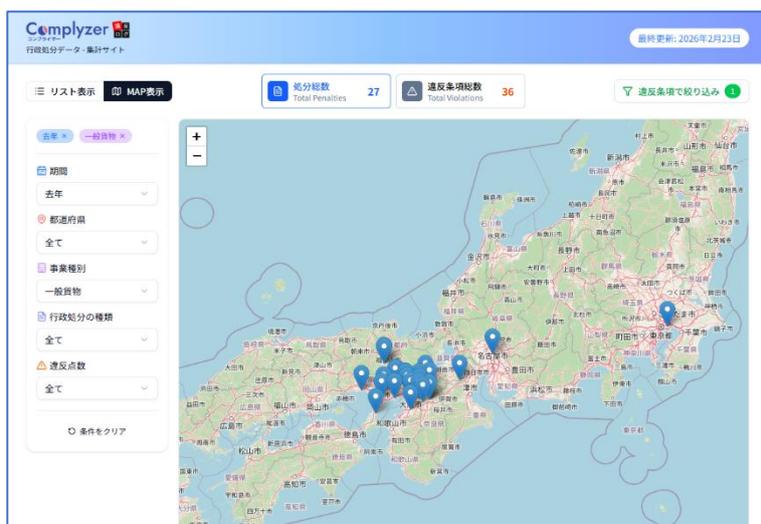
18件の事業者の取消処分結果がリストアップされました。

<例：過去12ヶ月 × 全業種 × 酒酔い・酒気帯び運行の業務 で検索、マップで表示>



12件の事業者の違反がリストアップされました。

<例：去年 × トラック × 点呼実施率 50%以下の違反があった事業者>



27件の事業者の違反がリストアップされました。

<例：去年 × 貸切バス × 疾病、疲労等による運行の業務 の違反 で検索>

The screenshot shows the Complyzer web application interface with a list of violations. The top bar shows '違反総数' (Total Penalties) as 18 and '違反条項総数' (Total Violations) as 49. The left sidebar has filters: '期間' (Period) set to '去年' (Last Year), '都道府県' (Prefecture) set to '全て' (All), and '事業種別' (Business Type) set to '貸切バス' (Charter Bus). The main table lists the following violations:

年月日	都道府県	事業種別	事業者名	営業所名	行政処分の内容
2025-12-04	鹿児島県	貸切バス	ウィキャンジャパン株式会社(法人番号 8340001020922) 代表者 高田昭悟	本社営業所	文書警告
2025-12-04	鹿児島県	貸切バス	ウィキャンジャパン株式会社(法人番号 8340001020922) 代表者 高田昭悟	本社営業所	自動車その他の車の使用停止処
2025-12-03	鹿児島県	貸切バス	ウィキャンジャパン株式会社(法人番号 8340001020922) 代表者 高田昭悟	本社営業所	自動車その他の車の使用停止処
2025-07-31	山口県	貸切バス	共栄観光株式会社(法人番号 6250001010190) 代表者 村田和久	本社	自動車その他の車の使用停止処
2025-03-21	長野県	貸切バス	和田バス有限公司(法人番号 4100002016476) 代表者 相馬博子	和田営業所	文書警告
2025-01-24	兵庫県	貸切バス	有限会社にしき運輸(法人番号 4140002035002) 代表者 堀見拓史	本社営業所	文書警告

18件の事業者の違反がリストアップされました。

本サービスはAIモデルの完成度が上がってくれば有償化する予定ですが、現時点では無償で提供致します。将来的には、AIを使ってさまざまなバックデータ・ビッグデータ解析し、点呼未実施であった事業所の近隣ヒートマップや、死亡事故が起きた事業所の違反の分析から「違反内容ヒヤリハットによる事故予測」等の分析を目指しています。事故の裏に違反（常態）あり。事業者におかれましては“Complyzer”を他山の石として活用し、事故ゼロ活動にお役立てください。

本件に関する問い合わせ先：東海電子株式会社 営業企画部
東京都立川市曙町 2-34-13 オリピック第3ビル 203
E-mail: info@tokai-denshi.co.jp
<http://www.tokai-denshi.co.jp>